

平成 16 年度「特色ある大学教育支援プログラム」

採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	静岡大学	整理番号	1-1-042
応募テーマ	主として総合的取組に関するテーマ		
取組名称	多角的評価で磨く文工融合型情報学教育		
申請単位	学部単位		
申請担当者	伊東 幸宏		
<p>(取組の概要)</p> <p>本取組は、文工融合型情報学教育の推進を目指す総合的取組である。本取組の特徴は、1) 2 学科 3 プログラム制という教育体制、2) 徹底した評価システム、3) 実験・演習重視の教育方法、4) 社会参画の推奨、5) 入試の工夫、の 5 点に代表される。2 学科 3 プログラム制は、これまでの実践と評価から得た「融合教育は、確固たる軸足をいくつか設定し、そこから踏み込むべき方向と歩幅に多様性をもたせて実現すべき」という知見に基づくものである。また、学科の枠を超えたプログラム編成により、全教員が全プログラムに責任を持つという学部主体の教育体制を形成した。取組の有効性は、1) 学生の就職率、2) 学生の社会での活躍、3) 外部機関からの評価、4) 教育方法に関する論文の採択、5) マスコミ報道からみる本取組への期待度、という 5 つの尺度で評価・確認される。2 学科 3 プログラム制は現時点での到達点であり、今後も進化させるべきものである。本取組の特徴である評価システムは、その進化の原動力を提供するものである。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>この取組は、静岡大学情報学部の理念である「文工融合」という考え方を基盤として、工学系の情報科学科と人文社会科学系の情報社会学科の両学科が協力して「情報学」という新しい総合的なパラダイムを創造し、それに基づいた教育によって高度情報化社会を主導する人材を育成することを目指すものです。</p> <p>今日の情報化社会では、工学的な情報技術を駆使しながら情報が人間や社会に与える影響を総合的に考えることが出来る人材の育成は不可欠であり、この取組は社会の要請に応える優れた取組であると評価できます。</p> <p>静岡大学情報学部はこの目的を達成するために、学科の枠を超えたプログラムを編成し、文工の融合を図っています。さらに、そのプログラムの成果を検証するために外部機関による評価を含めた多角的な点検・評価を実施し、プログラムに改良を加えていることは他大学にとっても大いに参考となるものです。</p> <p>学科制度のあり方に関しては、今後の課題があるとも感じられますが、点検・評価によってさらなる改良・発展が望めるものと期待します。</p>			